

厚岸っ子の体力の 状況をお知らせします

●問い合わせ／教育委員会指導室(役場内)

1学期に実施された、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果をお知らせします。
この調査は、実技(新体力テスト)と質問紙調査(アンケート)で構成されており、体力と運動習慣について全国の小学5年生と中学2年生を対象として実施されています。
この調査で把握できる体力や運動習慣の状況はその一端ではありますが、調査結果から学校教育活動の状況や児童生徒の体力の状況、傾向を捉えることで、学校での教育活動のさらなる充実に努めています。

【全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要】

●調査内容

①実技に関する調査

握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20㍓シャトルラン・50㍓走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ(小学生)・ハンドボール投げ(中学生)

②質問紙調査(運動習慣・生活習慣)

●対象

厚岸町立学校の小学5年生…男子28人、女子18人

厚岸町立学校の中学2年生…男子22人、女子27人

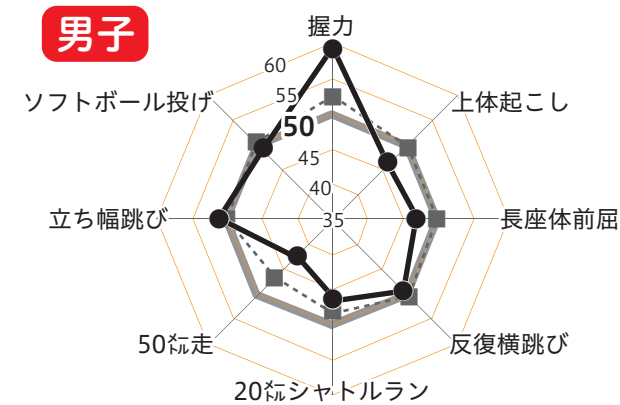


【調査結果(全国平均を50としたときの得点)】

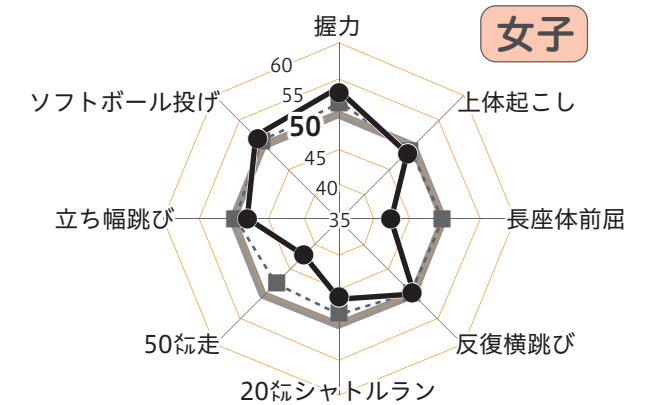
厚岸町 ●—● 北海道(公立) --■--

小学5年生

男子

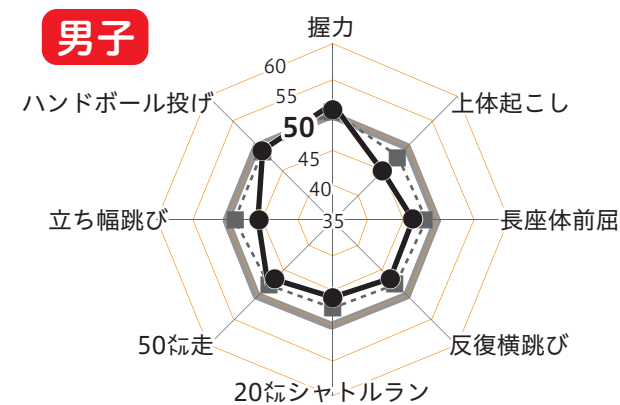


女子

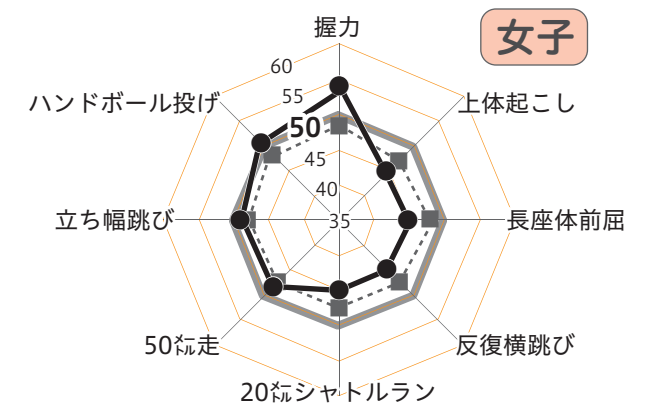


中学2年生

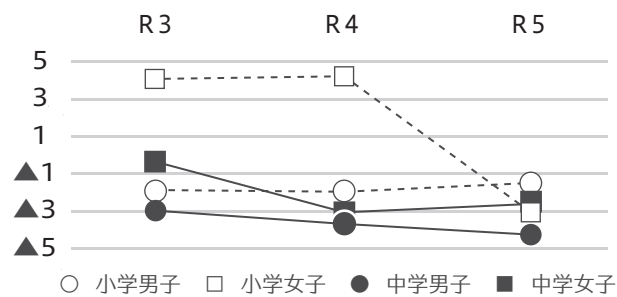
男子



女子

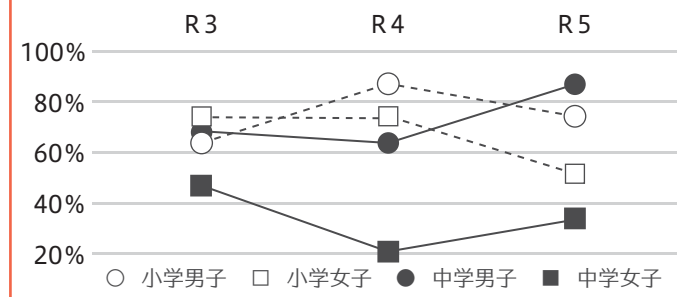


【体力合計点の全国との差の推移】

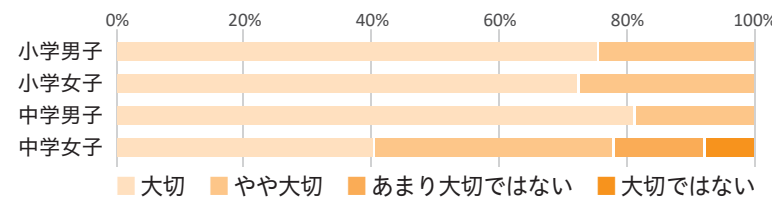


【体育の授業が楽しい】

(運動習慣等調査結果より)



【運動は大切だと思いますか】



体力は低下傾向
増強のために
体を動かす習慣を



【小学5年生の体力・運動習慣状況】 【中学2年生の体力・運動習慣状況】

体力合計点(T得点)は、男子で1.4ポイント、女子は3.2ポイント全国平均を下回る結果となりました。前回調査と比較して、男子は1ポイント向上し、女子は7.6ポイント低下しています。

男子は、握力で全国平均を9.6ポイント上回り、反復横跳びや立ち幅跳び、ソフトボール投げがほぼ全国平均となっています。一方で、50m走では8.4ポイント全国平均を下回っています。女子は、握力で全国平均を2.8ポイント上回り、上体起こし、反復横跳び、ソフトボール投げが全国平均を超えています。しかし、男子と同様に50m走では8.1ポイント全国平均を下回っています。

『運動が大切』と回答する児童は男子が75%、女子が72.2%で全国平均を上回っています。

体力合計点(T得点)は、男子で4.4ポイント、女子は2.4ポイント全国平均を下回る結果となりました。前回調査と比較して、男子は0.9ポイント低下し、女子は0.7ポイント向上しています。

男子は、握力とハンドボール投げがほぼ全国平均となっていますが、その他は、全国平均を下回っています。女子は握力とハンドボール投げで全国平均を上回り、立ち幅跳びはほぼ全国平均となっています。一方で、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走で全国平均を下回っています。

『体育の授業が楽しい』と回答する生徒は男子が86.4%、女子が33.3%で、共に昨年度より改善傾向にあります。

『運動が大切』と回答する生徒は男子が81.8%で全国平均を15.2ポイント上回り、女子が40.7%で全国平均を8.3ポイント下回っています。

体を動かす機会の確保を

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、運動に親しむ機会が少なくなったことが、体力低下に影響していると思われます。

学校では、体育の授業の改善に加え、休み時間などに体を動かす機会を設けるなどの工夫を行っています。

ご家庭におかれましても、家族で運動する機会を作り、健康維持や体力増強を目指し、少しずつ習慣づけしてみたいと思います。

運動の効果

体へ

- 体の発育・発達
- 運動技能の上達
- 体力の維持・向上

心へ

- 達成感・自信・意欲
- ストレス解消
- リラックス

学校では

- ▷安定した人間関係づくりに努めます
- ▷体力を育む環境づくりを進めていきます
- ▷体育の学習で、年間を通した体力づくりを進めます
- ▷楽しみながら、たくさん体を動かす授業づくりや運動イベントなどの取り組みを工夫していきます

教育委員会では

- ▷町内の体力・運動能力、運動習慣等の結果を分析し、成果や課題から改善策を提示します
- ▷成長に必要な栄養摂取や望ましい生活リズム習慣を意識できる取り組みを進めます
- ▷体育館やプールなど、町内の運動施設の積極的な活用を進めます

家庭では

- ▷休日や長期休業中の過ごし方について、親子で話し合います。特にテレビやゲーム、インターネットなどのメディアに接する時間についてルールを決めて実践しましょう
- ▷家族で体を動かす機会を作るなど、家庭での運動を習慣づける工夫をしていきましょう